

働き方改革を乗り越えられる「収益性の高い会社」の作り方

働き方改革は働く人の過度な労働をなくし、仕事とプライベートのバランスを図ることにありますが、それは、実は「企業の収益性を高める」ことなしには成り立たないことを理解しておく必要があります。

低収益の会社では、残業を減らしたり、職場環境を改善することは難しいからです。それでは、どうすれば高収益を作る事ができるのでしょうか？

お客様は商品やサービスを求めているのですから、お客様が望むQ P S（Quality, Price, Service）の組み合わせを作り出して提供することです。

それを考えて実現することがマーケティングです。それにはQ P Sによって「他社との違い」をつくり出すために、製造方法や販売方法などをイノベーションすることも不可欠です。

ピータードラッカーが言うように、マネジメントの根本的な仕事は、マーケティングとイノベーションにあります。「今日の仕事を明日も同じようにやればいい」と考える前例主義の経営者では、いつまでたっても自社を高収益企業に生まれ変わらせることはできません。

「従業員の意識を変えるには「行動改革」から入れ

働き方改革が取りざたされていますが、それを行うためには、高収益企業でなければできません。残業を減らし、働く人の働く時間を減らすからです。また、職場環境も整えなければなりません。そのためには高収益が必要になります。

さらには、生産性を高めるために、働く人の意識と行動の改革も求められます。ただ中小企業の従業員は、大企業に比べて「基礎力」が弱いため、経営者は、基礎力の底上げから始めなければなりません。

「基礎力」とは「思考力」と「行動力」のことです。そこで経営者は従業員に、お客様志向の「小さな行動」を繰り返し実践させるという「行動改革」から入り、それを徹底させます。

重要なことは意識改革ではなく、行動改革から入るということです。

とても評判の良い本を従業員に読ませる、良い会社のビデオを見せる、あるいは訪問するなどすれば、その時は、意識が変わるかもしれませんが、たいていは長続きしません。行動を変えないからです。そして、意識より前に行動を変えることから始めるほうが効果的だと私は思っています。

お客様志向の「小さな行動」を「行動目標シート」に毎月記入し、その振り返りを繰り返すなどして、行動を行わせるのです。それは、簡単に徹底できることではなく、経営者が口が酸っぱくなるほど従業員に言って実践させるという地道な作業を続けることが必要です。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

そして次のレベルでは、「良い仕事」（「お客様が喜ぶこと」「働く周りの仲間が喜ぶこと」「工夫」の3点）の3つの行動を行うように促します。そうやってようやく、高収益企業に生まれ変わる道筋が見えてきます。

しかし残された時間はそう多くありません。働き方改革が進めば、高収益企業でなければ生き残ることができない時代が訪れるからです。

潰れるべき企業は潰れていく時代に

別の見方をすれば、ダメな会社が淘汰される時代になるということ。日本の開業率・廃業率は長い間 5%前後と低い値で推移していますが、欧米は2ケタに達しています。

その違いは、政府が低金利融資などで過度に企業を保護してきたことにより、本来、潰れるべき企業が潰れなかったという点にあります。

しかし働き方改革を進めていくと、潰れるべき企業は潰れることになると、私は考えています。生産性の低い低収益企業は、働き方改革による負担に耐えられなくなるからです。

もし売上や利益を伸ばすことができないまま、時短を導入するとどうなるか。

従業員の給料が下がることとなります。時短によりアウトプットが減れば、売上・利益が減り、給料は下がることは明白です。

生産性を高めてもアウトプットが増えなければ、余剰人員が発生して人員削減を行うことになる。働き方改革は経営者にも従業員にも覚悟が求められる改革なのです。

経営者は、法律で要請される働き方改革と企業の収益力を高める作業を、並行して同時に足早に進めなければなりません。

(小宮コンサルタンツ代表 小宮一慶)

PRESIDENT Online より

4月といえばいよいよお花見シーズンですが、日本人のお花見好きは今に始まった事ではなく、奈良時代の文献にも記載がある伝統的な季節の行事のようです。

私たちには馴染みの深い桜ですが、昔の人は桜に稲の神様が宿る時に花が咲くと考えていたようで、桜の花を見てその年の稲の作柄を占ったのがお花見の起源なのだとか。

東北の桜の開花は4月上旬のようです。

桜を見ながら、素敵な春の思い出を作ってください。



東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します